

豊里幼稚園

豊里幼稚園の概要

本園は周りに田んぼが広がるのどかな環境の中にあり、子どもたちは日々、目の前に広がる稲の様子や風のおいを肌で感じながら0歳児から5歳児の子どもたちが生活し、毎日乾布摩擦をした後、体操をしたり、個々に合わせてグラウンドを走っています。豊里幼稚園ではこれからの必要な教育や養護として、相手を思いやる気持ちや我慢してやり遂げる力、チャレンジする力、自信を持って生き抜く力を伸ばすことがこれからの教育です。この能力を伸ばすには、大人が子どもを可愛いと思うこと（愛してあげること）、我慢して約束を守っていることや自分でできた時、人に優しくできた時に「〇〇のところが良かったよ」「最後までできたね」と具体的に子どもに分かるように褒めてあげることです。人に褒められると子どもは喜び、自分は人に愛されている、自分を認めてくれる人がいるという感覚に結び付き、その積み重ねが生きる力や困難に出会った時に自分で乗り越えようとする力になります。自分から発見・表現したことに共感し、子どもの気持ちに寄り添い、「やりきる力」や「思いやり」「我慢する気持ち」が育つよう子どもの能力を信じ、保護者の方と一緒に育ちを共感し、10年20年先を見通した、生きる力を身に付けることを教育方針としています。

教育理念

地域の文化に触れながら一人一人を大切に一人一人の可能性を認め人や物との関わりを大切に豊かな心を育む。
保育教諭が子どもの命を守ることや情緒安定を図ること保健衛生的な環境を作り生理的な欲求を満たす。

めざす子ども像

- 友だちと心を通わせながら遊べる子
- 自分で考えて意欲的に行動できる子
- 感性が豊かで色々なものに感動する子
- 物を大切にする子
- 体力のあるげんきな子

保育時間

- 短時間プラン（2、3号）…午前8時より午後4時
 - 標準時間プラン（2、3号）…午前7時より午後7時
（午後6時より延長料が発生します）
 - 1号認定 午前8時より午後4時（園に申込です。）
- ※土曜保育も利用できます。（2号認定・3号認定）
※一時保育、園開放、障がい児保育にも専門機関と連携を取りながら力を入れています。

給食

- 月齢に応じた離乳食を作っています。（前期、中期、後期に分けて献立を作成し提供しています。）
- お米は地元農家さんのお米を使用しています。
- お茶は0、1歳児にカフェインの少ない麦茶、幼児クラスは地元のお茶を使用しています。
（夏場はミネラルの多い麦茶）
- 手作りおやつを提供しています。
- アレルギーの子どもたちの除去食を一人ひとりに合ったメニューで作っています。（ご相談下さい。）
- 日本の伝統行事や食文化を伝えることも大切にしています。

主な行事

入園式、こどもの日の行事、誕生会、避難訓練、参観日、七夕会、氷あそび、げんきっ子まつり、ワクワク体験、運動会、生活発表会、クリスマス会、おもちゃつき会、節分、作品展、アートフェスタ、市文化祭、ひな祭り、なかよし会、卒園式、鼓笛、チアダンス、ヨガ、サッカー

（※行事は予定であり、感染症等の状況により追加、変更、中止になる場合があります。）